

Ⅱ 評価結果

～評価対象事務事業一覧～

区民活動推進部所管事業（7事業）

- 1 トリフォニーホール管理運営（施策111）
- 2 路上喫煙等防止対策事業（施策131）
- 3 NPO等の市民活動支援事業（施策511）
- 4 地域担当員制度（施策511）
- 5 伊豆高原荘の運営（施策512）
- 6 協治（ガバナンス）の人づくり事業（施策542）
- 7 すみだ地域サイト管理・拡充・普及事業（施策542）

環境担当所管事業（6事業）

- 8 公共建築物・民間建築物の屋上緑化推進（施策132）
- 9 地球温暖化対策助成事業（地球温暖化対策地域推進計画の推進）（施策481）
- 10 雨水利用推進事業（施策481）
- 11 資源回収事業（集積所回収）（施策483）
- 12 資源回収事業（資源物持ち去り及び不法投棄防止対策）（施策483）
- 13 粗大ごみ収集・運搬（施策483）

産業観光部所管事業（6事業）

- 14 地域資源活用プロジェクト推進事業（施策311）
- 15 すみだ次世代モビリティ開発プロジェクト推進事業（施策311）
- 16 すみだ就職相談室事業（就職サポート事業）（施策313）
- 17 工房ショップ創出事業（施策321）
- 18 商業活性化すみだプログラム推進事業（施策322）
- 19 小規模企業特別融資資金等の私的債権管理事務（施策543）

Ⅱ - ① 評価結果（全般的・事業横断的な意見）

1. 評価の仕組みについて

内部評価の結果、多くの施策・事務事業について維持継続していくと判断されているが、外部評価では、客観的な視点から事業の縮小・見直しに言及する意見もあり、外部からの評価を行うことの重要性が明らかになったといえる。

現在実施されている内部評価は、担当部局による「自己申告」にとどまっているが、外部評価委員会で検討する前に、区としての評価を確定させ、その後に外部評価を受けるというような方法も考えられる。

墨田区の外部評価はまだ端緒についたばかりなので、評価方法については、柔軟性を持って改良していただきたい。

今後は、外部評価委員の意見がどのように区政に反映されるのかについて、継続的にチェックしていく仕組みも必要である。

2. 評価シートについて

事務事業によっては、目的や理念が理解しづらいものもあるので、目的と事務事業との関連性について明確に記載する必要がある。

また、現状の評価シートでは、事業にいくら費やしたか示されていないが、事業費を区税等の一般財源でまかなっているのか、あるいは利用者からの収入など特定財源がどのくらいあるのか等、歳入に関することも事務事業評価を行う重要な情報だと考えられるので、評価シートに「歳入」の欄を設けるべきである。

さらに、事業の費用対効果を具体的に判断する上で、委託費については単に支出した事実だけでなく、金額の妥当性等の検証を行う必要がある。

3. 事務事業評価について

評価シートにおける実績を表す指標・実績値が、個々の事業の活動実績（アウトプット）になっており、その事業を行った結果として何が実現されたか（アウトカム）が明らかでないものがある。事業の実績ではなく、その結果として何が改善されたかについても、指標として示すことが望ましい。

また、評価シートにおける事業の目標と、実績を表す指標・実績値が整合していない場合が多く見受けられた。その結果、事業実施の結果が施策目標に寄与しているか判断ができず、目標達成のために必要な対応策の分析がなされていない事業や、本来評価不能にもかかわらず評価されているものもあった。このことについては、早急に改善が必要である。

さらに、指標の設定が困難な事業の場合は、目標に対して有効に機能しているのかが把握しにくい。したがって、目標を設定する段階で、多角的に検討し、代替的な数値指標を設定することが望まれる。